



令和5年10月30日
鉄道局技術企画課

第1回 水素燃料電池鉄道車両等の導入・普及に関する連絡会の開催について

我が国の鉄道における水素燃料電池鉄道車両等の導入・普及の推進を図ることを目的とし、国と鉄道事業者等の関係者間から構成される連絡会を設置します。

2050年カーボンニュートラルや水素社会の実現に向け、鉄道分野においても水素の利活用を推進することが必要です。特に、水素から生み出した電気を動力源とする水素燃料電池鉄道車両は非電化区間におけるディーゼル車両から置き換えることで非化石エネルギー転換の切り札となります。

水素燃料電池鉄道車両の実用化にあたっては、技術課題の解決や社会実装に向けた量産化・コスト低減が必要不可欠であり、更なる技術開発の動向や水素供給拠点等のインフラの整備状況を見極めつつ、制度面での措置を含めた官民一体の取組を進めることが重要です。

このため、水素の利活用に関する検討状況等を共有するなど、必要な情報を収集・整理し、我が国の鉄道における水素燃料電池鉄道車両等の導入・普及の推進を図ることを目的とし、下記のとおり国と鉄道事業者等の関係者間から構成される連絡会を設置します。

記

1. 日 時：令和5年11月1日（水）10：00～12：00
2. 場 所：中央合同庁舎3号館6階大会議室（オンライン併用）
3. 構成員：別紙のとおり
4. 議 事：（1）連絡会の設置について
（2）鉄道事業者等における検討状況について
（3）意見交換
5. その他：

本連絡会は非公開ですが、報道関係者を対象に冒頭挨拶まで撮影が可能です。

撮影を希望される方は、下記のメールアドレスに＜氏名（ふりがな）、所属、電話番号＞を10月31日までに送付してください。

送付先：hqt-tetsudoudatsutanso★gxb.mlit.go.jp

（「★」を「@」に置き換えて下さい。）

<問合せ先>

鉄道局技術企画課 福、打越

電話：03-5253-8111（内線40744、40754）

直通：03-5253-8547

第1回 水素燃料電池鉄道車両等の導入・普及に関する連絡会

構成員

【鉄道事業者】

- ・ 北海道旅客鉄道株式会社
- ・ 東日本旅客鉄道株式会社
- ・ 東海旅客鉄道株式会社
- ・ 西日本旅客鉄道株式会社
- ・ 四国旅客鉄道株式会社
- ・ 九州旅客鉄道株式会社
- ・ 日本貨物鉄道株式会社

【関係法人】

- ・ 一般社団法人日本民営鉄道協会
- ・ 第三セクター一鉄道等協議会
- ・ 公益財団法人鉄道総合技術研究所

【国土交通省】

- ・ 鉄道局